

宮城県感染症発生動向調査情報

令和03年07月08日発行

2021.6.28 ~ 2021.7.4 - 第26週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第23週	第24週	第25週	第26週
水痘		2 0.20						6 0.22	8 0.14	250				
流行性耳下腺炎		2 0.20						1 0.04	3 0.05	77				
感染性胃腸炎	13 3.25	12 1.20	4 0.80	4 2.00	3 1.00	6 1.20		95 3.52	137 2.36	3,389	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.50	2 0.20						8 0.30	12 0.21	57				
伝染性紅斑		1 0.10						1 0.04	2 0.03	27				
突発性発しん	4 1.00	8 0.80	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	1 0.50	14 0.52	39 0.67	757	○	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	11				
インフルエンザ									0 0.00	10				
咽頭結膜熱	3 0.75	4 0.40	1 0.20					14 0.52	22 0.38	387	レ	○	○	レ
流行性角結膜炎								2 0.33	2 0.17	34				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.75	9 0.90		1 0.50		4 0.80		16 0.59	33 0.57	635	○	レ		○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00					1 1.00	1 0.20	3 0.25	31				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	100 25.00	92 9.20	32 6.40	10 5.00	17 5.67	26 5.20		323 11.96	600 10.34	1,994	◎	◎	◎	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2				2				◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病													
	不明発疹症							4						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名
仙台南管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 女性1名
仙台南管内 男性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
仙台南管内 男性1名(O157), 女性4名(O157)

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台南管内 男性2名
(*Klebsiella aerogenes*)

梅毒

仙台南管内 男性1名(第23週), 男性4名, 女性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症

仙南管内 男性2名, 女性1名
塩釜管内 男性3名, 女性4名
大崎管内 男性1名
栗原管内 男性1名
登米管内 男性1名, 女性1名
石巻管内 男性8名, 女性7名
仙台南管内 男性28名, 女性7名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

栗原管内 第26週採取分 SARS-CoV-2 1件
石巻管内 第26週採取分 SARS-CoV-2 7件

呼吸器感染症患者より

塩釜管内 第26週採取分 パラインフルエンザウイルス3型 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第23週採取分 (6.7~6.13)	第24週採取分 (6.14~6.20)	第25週採取分 (6.21~6.27)
RSウイルス	7件	6件	11件
アデノウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

上下気道炎を引き起こす代表的なウイルスであるRSウイルスによる呼吸器感染症で、主に小児にみられます。今週は600名で第25週の413名からさらに増加しており、過去10年間のピーク時を上回っています。気仙沼管内を除き県全域で増加がみられます。また、仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの分離報告が増加しています。感染者のせきやウイルスの付いた手やおもちゃなどを触ったり、なめたりすることで感染するとされていることから、小児のいる家庭や保育施設などは注意が必要です。今後ピークを迎える可能性があるため動向について注視してください。

【小児の呼吸器感染症】

現在、小児を中心にRSウイルスが流行中ですが、県内の保育施設で発熱・咳・鼻水を主訴とする呼吸器感染症の集団発生があり、検査を実施したところ、パラインフルエンザウイルス3型が検出されました。パラインフルエンザウイルス3型は、幼若乳児ならびに易感染性状態にある小児および成人に肺炎や細気管支炎を引き起こします。RSウイルス感染症に近い症状で、より軽症であることが多いとされています。このウイルスによる感染症は感染症発生動向調査の対象となっておりませんが、県下における小児の呼吸器感染症の流行の一因と考えられますので、注意が必要です。手洗いなどの予防の徹底に努めましょう。

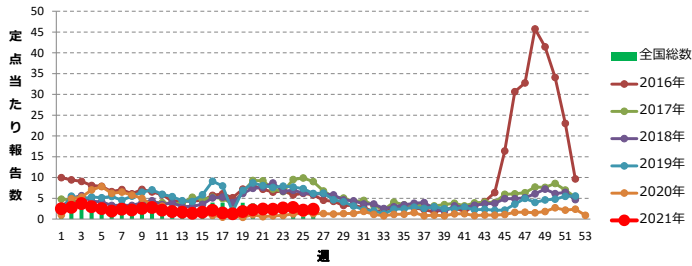
宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

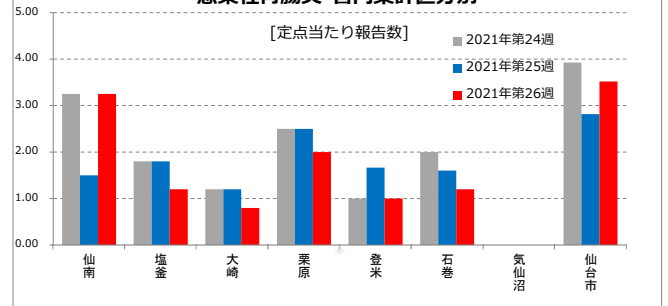
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

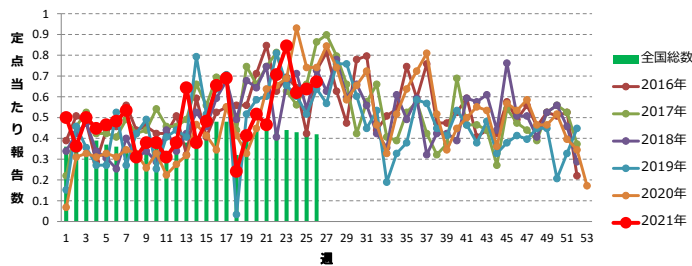
感染性胃腸炎



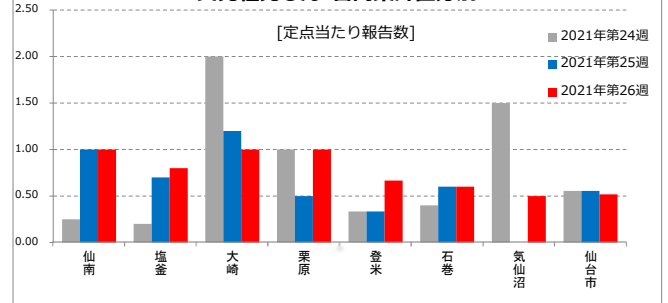
感染性胃腸炎-管内集計区分別



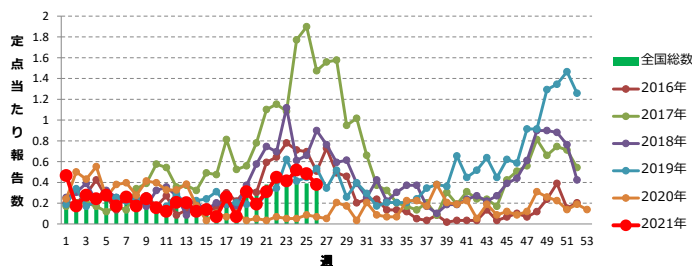
突発性発しん



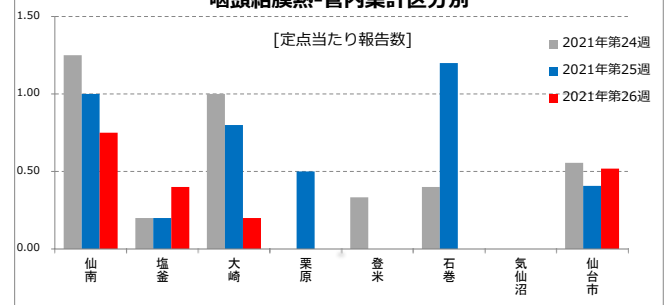
突発性発しん-管内集計区分別



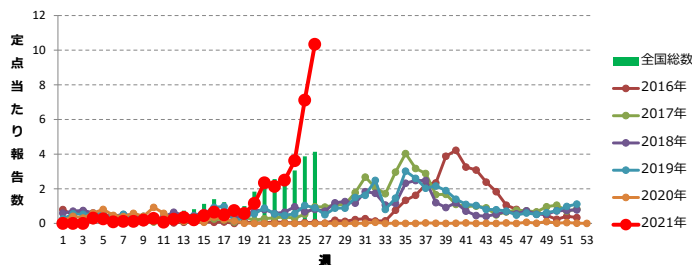
咽頭結膜熱



咽頭結膜熱-管内集計区分別



RSウイルス感染症



RSウイルス感染症-管内集計区分別

